

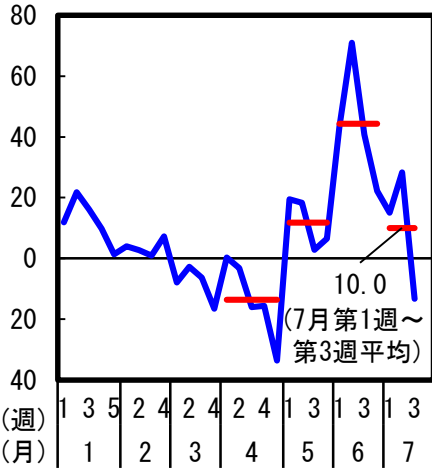
# 金融政策、物価等に関する集中審議資料

令和 2 年 7 月 3 0 日  
内閣府

# 個人消費、設備投資の動向

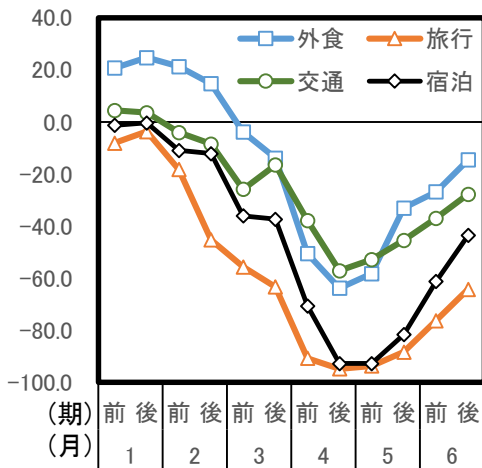
## 図1 家電5品目販売額

(前年比、%)



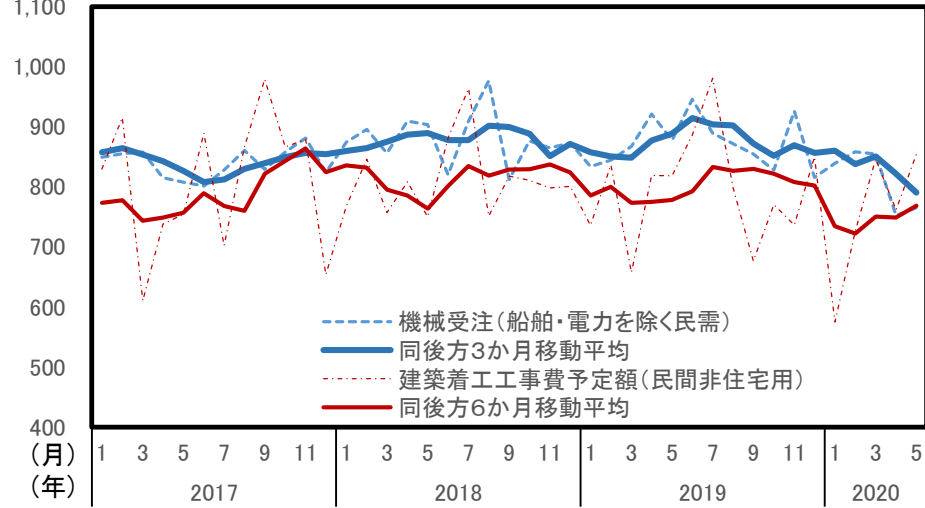
## 図2 サービス支出の動向

(前年比、%)



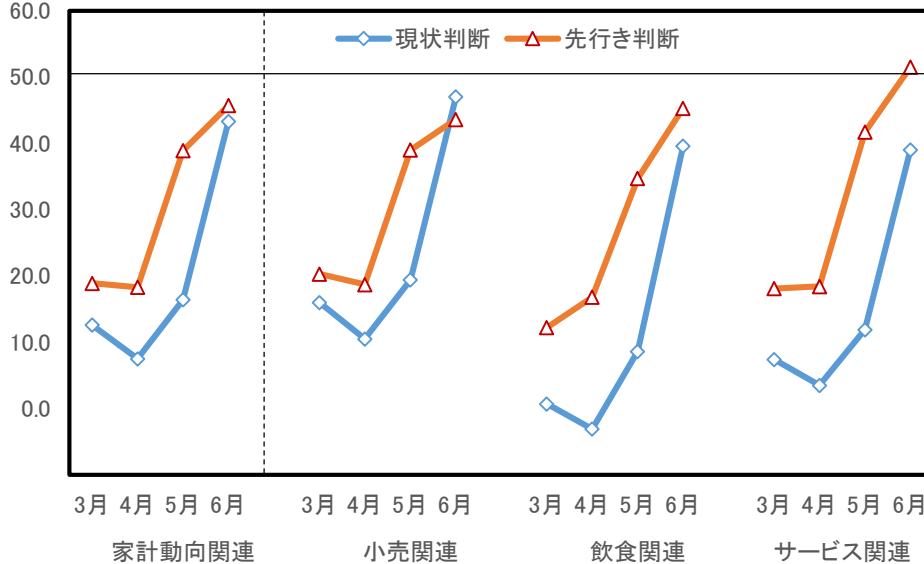
## 図4 機械・建物投資の動向

(10億円)



## 図3 家計関連の景況感(景気ウォッチャー調査)

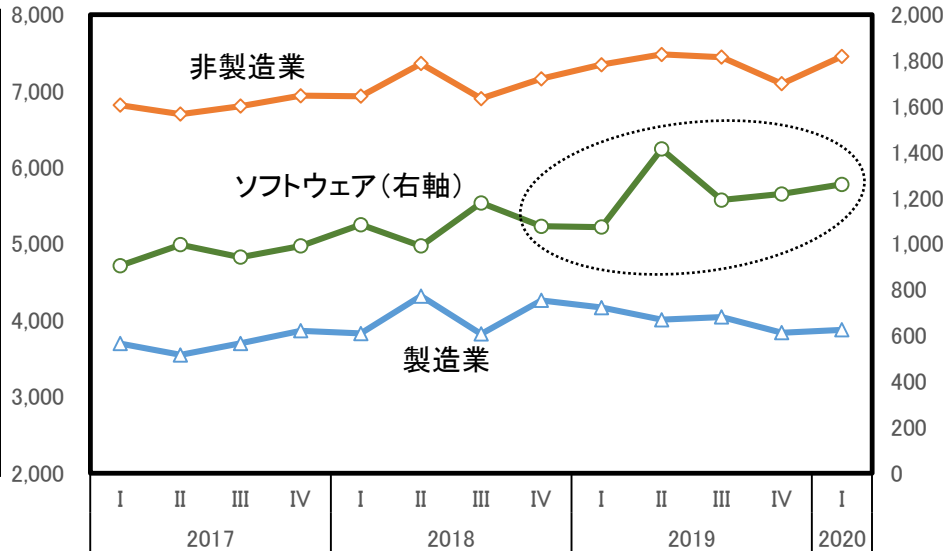
(方向性、DI)



## 図5 設備投資の動向(法人企業統計)

(10億円)

(10億円)



(出所等) 図1は、経済産業省「METI POS小売販売額指標[マイクロ]」より作成。図2は、株式会社ナウキャスト、株式会社ジェシービー「JCB消費NOW」より作成。渡辺努「クレジットカード支出金額の「1人当たり支出金額」と「支出者数」への分解(2020年4月)の参考系列。2月後半は閏年効果を除くため公表値(前年比)から7.1ptを控除。図3は、内閣府「景気ウォッチャー調査」より作成。季節調整値。図4は、内閣府「機械受注統計」、国土交通省「建築着工統計」より作成。機械受注は季節調整値。図5は、財務省「四半期別法人企業統計」(2020年1-3月期確報値(7月27日公表))。季節調整値系列。製造業、非製造業はソフトウェアを除く。なお、6月1日公表の速報では設備投資(ソフトウェア含む)の前期比は+6.7%、確報では+3.6%となっている。

# 雇用の状況

図6 売上半減以上の企業の割合

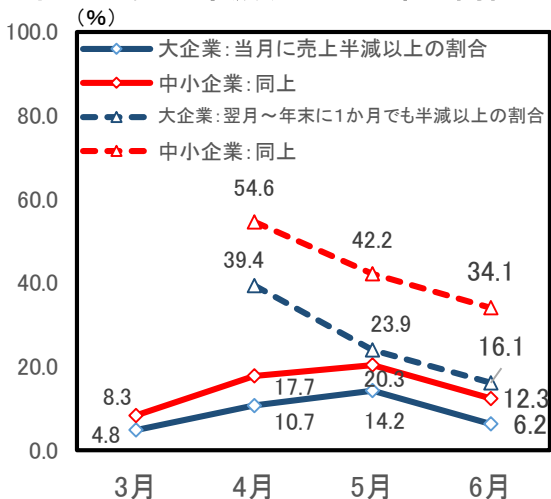


図7 景気ウォッチャー調査

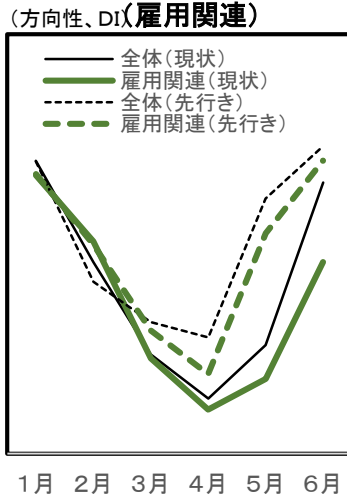


図9 日次有効求人数

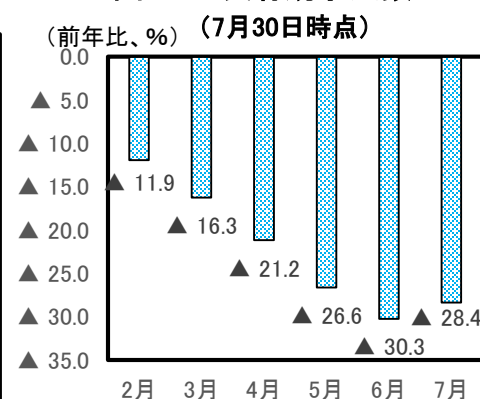


図10 解雇等見込み労働者数

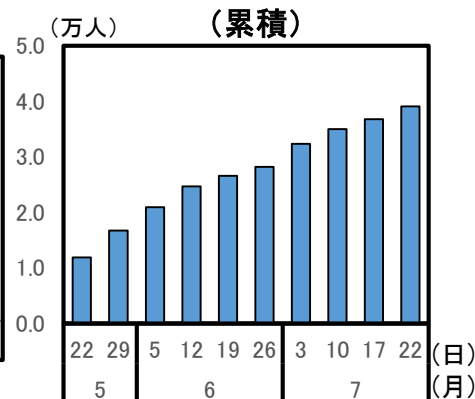


図8 雇用の過不足感(日銀短観)

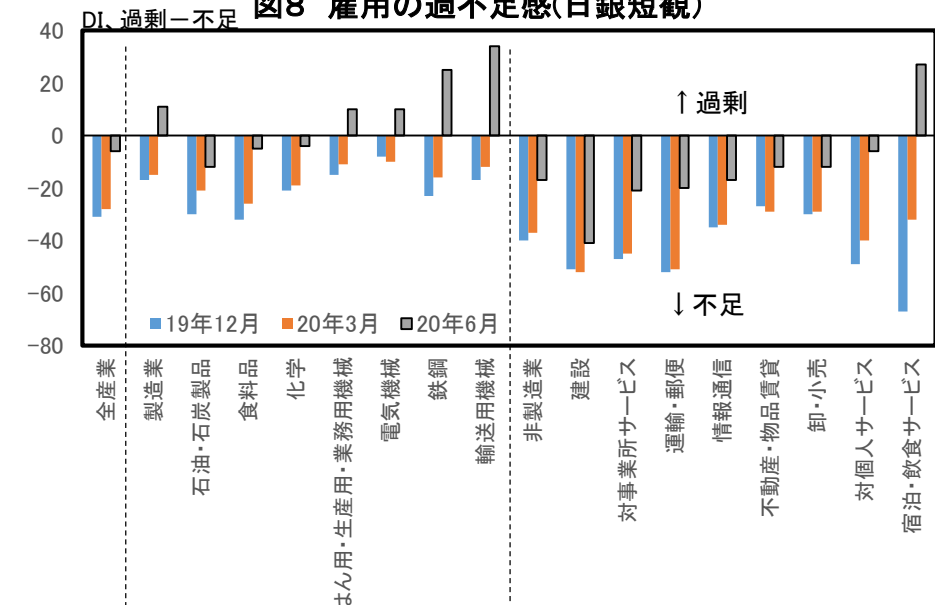


図11 地域や業種を超えた雇用マッチングの取組例

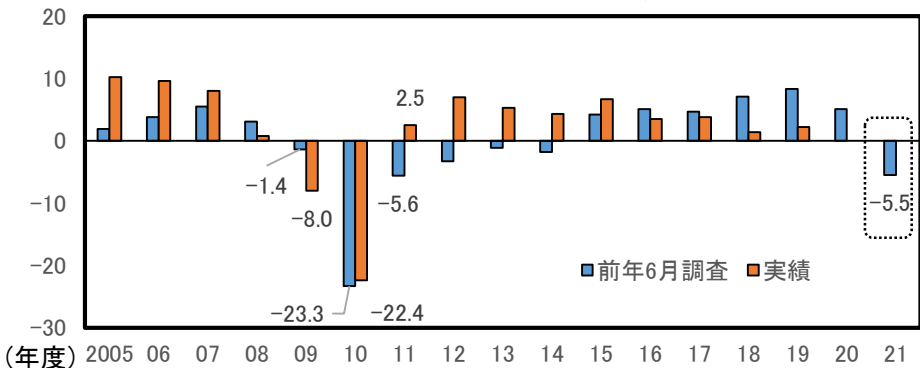
(雇用対策に関する副大臣会合より)

埼玉県、労働局、関東経産局の連携により、県内中小企業等を対象に、人材余剰の企業から人材不足の企業への一時的な雇用移動を支援

60の地域金融機関が、地域企業の経営課題等を分析、職業紹介事業者と連携して行う人材マッチング事業を成果連動払いの補助金で支援

JAを通じて、ホテル従業員の雇用希望者を人手不足の農家に紹介

図12 新卒採用計画(日銀短観)



(出所等) 図6は、東京商工リサーチ「新型コロナウイルスに関するアンケート」第6回調査等より作成。6月調査は2020年6月29日～7月8日のインターネットによる調査、有効回答数1万4602社の分析。図7は、内閣府「景気ウォッチャー調査」より作成。季節調整値。図8、図12は日本銀行「全国企業短期経済観測調査」2020年6月調査より作成。図9は厚生労働省ホームページより集計し作成。図10は厚生労働省資料より作成。図12の事例は各種報道に基づき作成。

2021年度新卒採用の見送り、内定取り消しの例

- 航空会社A :パイロット等一部を除き採用見送り
- アパレル会社B :大学卒業見込み者らの内定を取り消し

# 世界経済の動向等

図13 OECDの世界GDPの見通し（四半期）

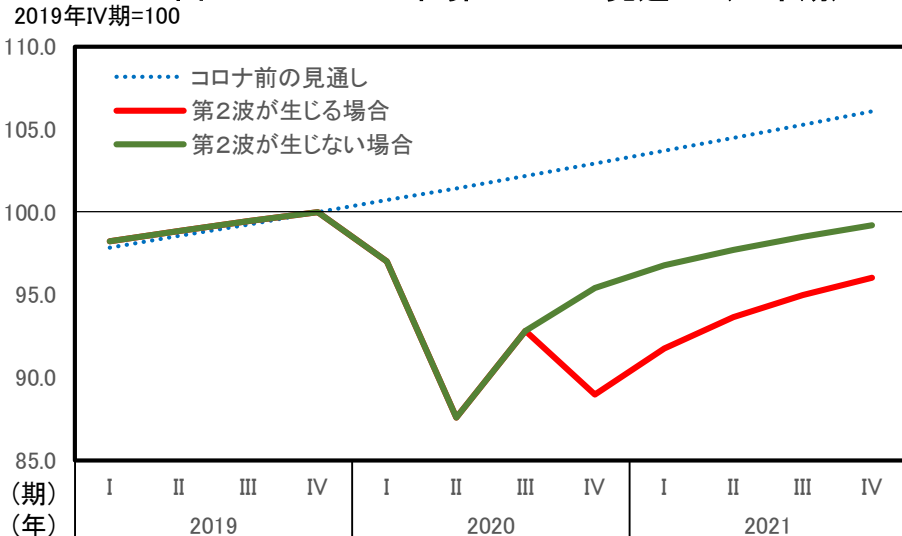


図14 世界銀行の世界GDPの見通し（暦年）

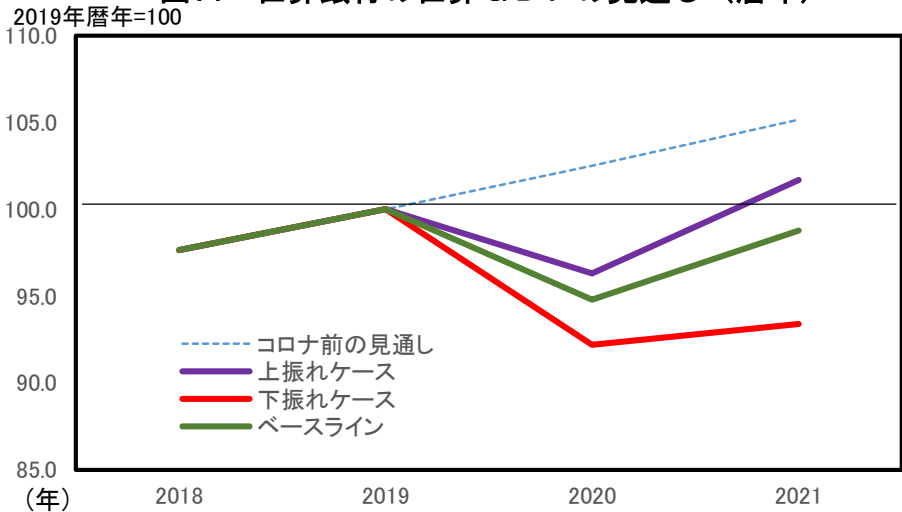


図15 新規感染者数の動向

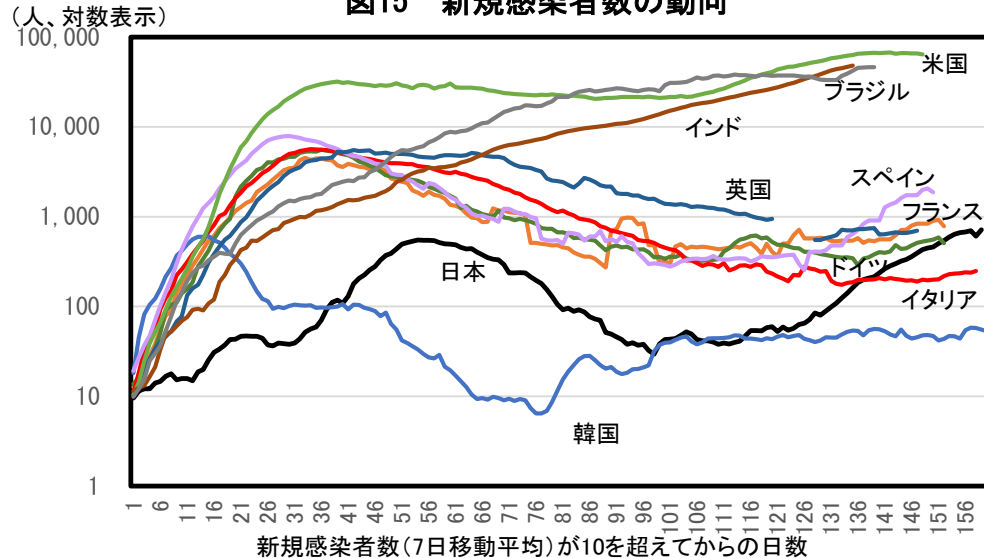


図16 重症者数（現在）の比較

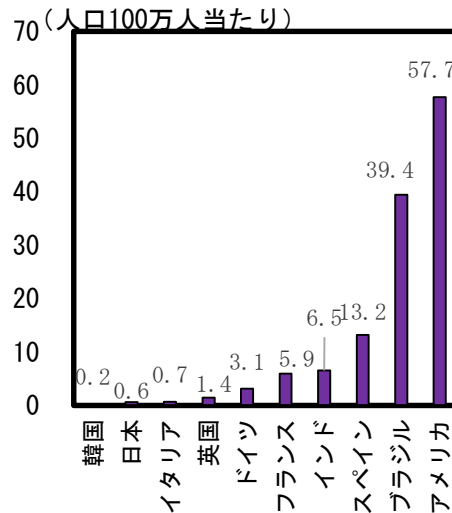
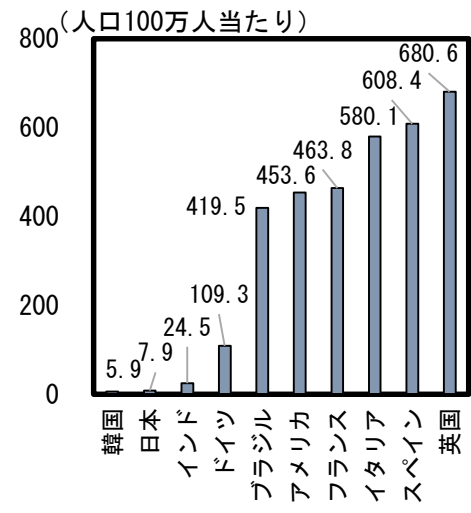


図17 死亡者数（累積）の比較



(出所等) 図13はOECD “Economic Outlook 107” (2020年6月)より。「第2波」が年末にかけてすべての国で生じるか否かでケース分け。コロナ前の見通しは2019年11月。図14は世界銀行 “Global Economic Prospects” (2020年6月)より。下振れケースは、20年7-9月期に流行が再発し、ロックダウン等の経済制限措置が取られる場合、上振れケースは政策効果により企業・消費者のマインドが早期に回復する場合。コロナ前の見通しは2020年1月。図15はFinancial Times “Coronavirus tracked: has your country’s epidemic peaked?”に基づき作成。データは、European Centre for Disease Prevention and Controlより。日本はPCR検査陽性者数、一部の国で陽性者数に加え、医師による検査数も含む。なお、英国は7月3日に累計感染者数の大幅な下方改定があり、その日の新規感染者数が▲29,726人となっていることから、7月3～9日は断絶が生じている。図16、17は厚生労働省資料、国連人口推計(2019年)、worldometersより作成。重症者数は、worldometersにおけるSerious, Criticalの人数。いずれも7月29日20時現在。